

前期基本計画 総括評価シート

1 基本情報

| | | | | | | | | | |
|-----|---------------------|---------|------|-------|-----|-------------|--|--|--|
| 施策名 | 2 - 3 みどりがつながるまちづくり | | | | 戦略名 | みどり活用プロジェクト | | | |
| 担当 | 主担当部 | 市民環境経済部 | 主担当課 | 環境課 | | | | | |
| | 部長名 | 岡田 光一 | 関係課 | 都市計画課 | | | | | |

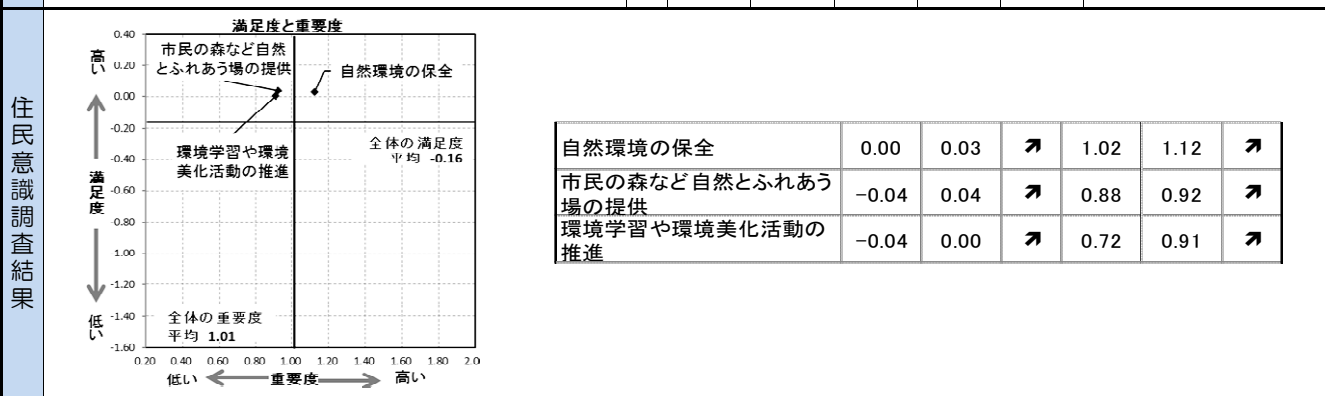
2 取組目標

- 白井市の豊かな暮らしを支える重要な要素である水とみどりの環境の大切さを市民一人一人が認識し、その保全と継承に向けた取り組みを展開します。
- 森や河川、田園など市街地の外側に広がるみどりと市街地内の緑地や樹木などのみどりがチェーンのようにつながり、みどりが持つ暮らしを豊かにする多様な可能性を活かします。

3 前期基本計画の成果

| | |
|------|--|
| 取組成果 | 取組1 自然とのふれあいや癒しの場としての里山の保全と活用 ・（仮称）谷田・清戸市民の森の整備に向けて、平成29年度に地区代表者との協議の結果、土地所有者との個別交渉に入ることについて了承が得られたことから、土地所有者への戸別訪問により整備区域素案を作成して、平成31年度に地区代表者による会議に提示した。 ・森の管理については、市民団体と協働で定期的に保全作業を行った。 |
| | 取組2 市民によるみどりのネットワークづくりに対する支援 ・平成28年度から、沿道の植栽活動を行う団体に対して草花等の購入に要した経費の一部を補助し、平成31年度には45団体に支援したほか、白井環境フォーラムで団体の活動を紹介することで、市民や市民団体等が自ら身近なみどりを育て、ウォーキングや散歩の場となる沿道のみどりのネットワークを作ることができ、身近に白井の豊かな自然を感じる市民が増えた。 |

| 成果指標 | 施策指標名 | 単位 | 基準値 | 実績値 | | 目標値 | 達成度 | 達成状況 | |
|------|--------------------------|----|-----|-------|-------|------|-----|-------------|--------|
| | | | | H28年度 | H31年度 | | | R2年度 | 達成率 |
| | 白井のみどりの環境を自慢に思う市民の割合 | % | - | 72.1 | 82.2 | 72.1 | ◎ | ◎ 目標達成 | 100%以上 |
| | 身近に自然を感じるお気に入りの場がある市民の割合 | % | - | 85.3 | 87.7 | 85.3 | ◎ | ○ 目標に近づいている | 75%以上 |
| | | | | | | | | △ 基準値を現状維持 | 50%以上 |
| | | | | | | | | × 基準値より悪化 | 50%未満 |



4 前期基本計画の総括(主担当部長による評価)

| | | | |
|------|--|----------------|------------------|
| 評価 | C | A 目標を上回る成果があった | C 目標をやや下回る成果となった |
| | | B 目標どおりの成果があった | D 十分な成果があらなかった |
| 評価理由 | 取組においては、沿道みどりの推進事業では、市民による主体的なみどりのネットワークづくりが進み、市民にとって身近な場での、みどりの環境を充実させることができた。 一方で、（仮称）谷田・清戸市民の森の整備事業では、地元との協議に時間を要していることに加え、事業開始から年数が経過し、整備にあたって自然環境を損なわないよう環境調査を行う必要があることなどから整備区域素案を決定することができず、事業が遅れている状況である。 成果指標や住民意識調査においては概ね良好であったが、これらを踏まえ、総合的にみて本評価とした。 | | |

5 後期基本計画への反映

（仮称）谷田・清戸市民の森の整備事業については、環境調査を行うとともに、地権者等との協議を続け、事業を進めていく。
 沿道みどりの推進事業については、補助金制度の見直しをするなどして、範囲が拡大されるよう検討していく。

6 総合計画審議会の意見

「施策2-1 「魅せる農」のまちづくり」に記載。